NEWS RELEASE
Chugoku Transport & Tourism Bureau
人と物の移動を見つめ支えます
国土交通省中国運輸局

令和3年10月28日

なくそう！踏切事故

～ 踏切事故防止キャンペーンの実施について ～

中国運輸局では踏切事故ゼロを目指すため、11月1日～10日までの10日間を踏切事故防止啓発活動の強化期間と定め、実施機関(※)と協力して踏切事故防止キャンペーンを実施します。

本キャンペーンは、踏切道を通行する歩行者及び自動車の運転者等に対し、踏切道の通行に際しての安全意識の高揚を図り、安全で円滑な踏切道の通行を確保することを目的として平成2年度から実施しており、今回で32回目となります。

※【実施機関】

中国管内鉄軌道事業者／中国四国管区警察局／中国地方整備局／中国運輸局

【主な取組事項】

1．駅利用者や列車の乗客に対する踏切事故防止の周知

各駅や列車への看板の設置、駅構内や列車内への放送実施により、利用者に対し安全を呼びかけます。

2．踏切道での立哨

踏切道への立哨により、踏切道を通行する歩行者や自転車等に対し、注意を呼びかけます。

3．踏切安全教室の開催

幼稚園や高齢者の集会に出向き、模擬踏切やミニ電車を使って踏切を渡る時の注意事項や踏切内に閉じ込められた時の対処方について学ぶ教室を開催します。

（広島県で３カ所、山口県で３カ所を予定しています。）

※教室は取材対応可能です。詳細は別途お知らせします。

【問い合わせ先】
中国運輸局 鉄道部 安全指導課
担 当：木本（きもと）
大岩（おおいわ）
☎082-228-8799

～プレス先～

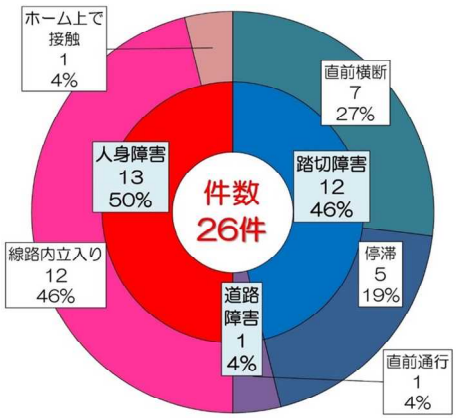
広島：合同庁舎記者クラブ、JR記者クラブ、経済記者クラブ、県政記者クラブ

【参考】中国管内の事故発生状況

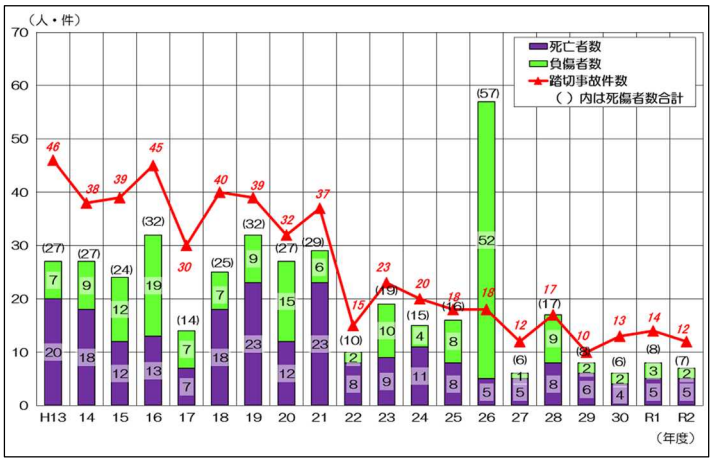
・令和 2 年度の鉄軌道運転事故 26 件中、踏切事故が 12 件と 46%を占めている。
・踏切事故の原因別では「直前横断」が 7 件、「停滞」が 5 件となっている。
・過去 5 年間の踏切事故のうち、65 歳以上の高齢者が関係した事故は、全体の約 48%を占めている。

鉄軌道運転事故件数及び死傷者数の推移

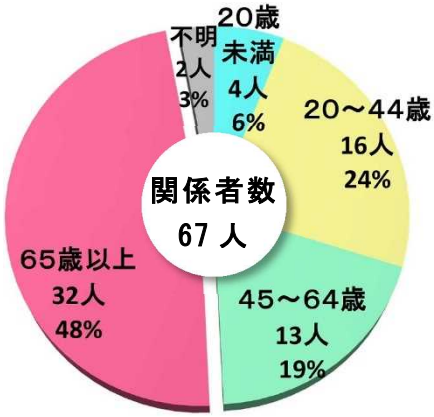
鉄軌道運転事故件数の内訳
（令和 2 年度）



踏切障害事故件数及び死傷者数の推移



踏切事故関係者の内訳
（過去 5 年 H28～R2）



※ 令和 2 年度の数値は速報値。
※ 「運転事故」とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故をいう。
※ 「直前横断」とは、列車が踏切を通過する直前に自動車等が踏切に進入して列車等と衝突したものをいう。
※ 「停滞」とは、自動車等が落輪、交通渋滞等により踏切道から進退が不可能となったため列車等と衝突したものをいう。